

令和5年度第2回岡山県食の安全・食育推進協議会議事録（概要）

令和6年2月2日

発言者	発言内容
議事（1）	次期「岡山県食の安全・食育推進計画」の策定について
座長	食の安全、続いて食育の順に説明をお願いします。 まず、食の安全について生活衛生課から説明をお願いします。
生活衛生課	次期「岡山県食の安全・食育推進計画」の策定について（食の安全部門）説明。
（質問、意見等なし）	
座長	パブコメの1つ目の意見については、複数の施策に関係していることから明記していないというところであり、2つ目の意見については HACCP が義務化されたことにより導入率の調査は行っていないというところであった。 続いて、食育について健康推進課から説明をお願いします。
健康推進課	次期「岡山県食の安全・食育推進計画」の策定について（食育の推進部門）説明
委員	「日本型食生活の実践の推進」について、計画88ページに記載のある内容は、家庭向けに記載されているように感じる。「学校園・保育所等における食育の推進」の部分に繰り返し記載しても問題ないのではないか。
保健体育課	学校給食は、海外の食生活等、お米以外のものを食する機会でもある。和食や地産地消は、重要なものであると認識しているが、学校での食育も地域で行う食育のひとつであると考えている。
座長	計画には、食育の推進に関する重要な事項が記載されている。記載内容を食育の基本として、関係者の皆で計画を活用して周囲に伝えていくことが大切である。 それでは、計画策定に関する本協議会の議論は今回で終了することとし、この計画案により、県で策定作業を進めてください。なお、今後の軽微な修正については、座長と県に一任いただきたい。
議事（2）	その他
委員	「中国四国農政局の宅配型講座」、「消費者の部屋」、「食育交流会」のご案内
委員	宅配型講座の講師派遣には、対象者の人数や年齢等の制限はあるか。
委員	対象者の人数や年齢については、特に制限はない。チラシに記載している講座一覧は、基本のものであり、相談に応じて講座の内容を検討している。

委員	消費者の部屋については、団体（大人数）で見学に行ってもいいか。団体の場合、事前予約等が必要になるのか。
委員	人数制限はなく、事前予約の必要もない。順番に見学していただければと思う。
委員	岡山県は災害が少ないため、災害に対する意識が低いように感じている。将来、災害が発生した時のために子ども達に防災訓練を受けてもらいたいと考えているが、講座一覧の中にある「災害時に備えた家庭での備蓄」の講座を子ども向けに実施してもらえるのか。また、学校等への出前講座も可能であるか。
委員	チラシに掲載している講座内容は、大人向けに作成しているが、要望があれば内容を対象者に合わせて変更できるか検討したい。
委員	食育と食糧自給率について情報提供
委員	食糧・農業・農村基本法についての補足である。 食糧・農業・農村基本法については昨年中間取りまとめをして、現在開かれている通常国会で諮っていく予定である。
委員	地産地消を進めていく上で、旬の地場のものを取り入れ、消費を進めていかないと生産者が生産量を保てない。 食の安全・食育推進協議会でもいかに自給率を高めていくか、自給に繋がる内容を協議に入れていただくとありがたい。
座長	この協議会に参加いただいている方々は、食の安全や食育に対する見識があると思うが、学生や、スーパーなどの地域の販売者に対して普及啓発を進めることも大切と思った。県の取り組みだけではなく、委員のみなさまの周りでも伝えていくことで県民全体の意識の底上げに繋がると思う。
委員	生産年齢人口が減少していくなかで、旬の食材の生産や自給自足を支えていくには、生産者を増やしていかないといけないと感じている。国内で生産者を作っていく、農業や漁業が危機に瀕しているということを子どもたちに教育していくのも食育になると思う。 若い生産者を作っていかなければ、今の人口構成から、食料の自給自足は困難になっていく。 また、避難所での保存食、ローリングストックについてであるが、保存できる食品は限定的であるため、普段から保存期間や栄養を意識して県民にも教育・啓発する必要があると感じる。県で何か取り組みがあるか。
保健体育課	生産者への教育についてであるが、生産者に限らず、成り手不足の職種は多くあるため子供たちには自分たちで考えて選択ができるような教育をしている。

	<p>ある特定の職種に特化した教育はできていない現状であるが、子どもたちが将来、自分で選択するということを念頭に置いた教育が今の方向性かなと考えている。</p> <p>保存食についてであるが、県立学校については今年度から防災の意識を高める取り組みとして防災の中核となる教員の配置等をし、各学校で、備蓄品でローリングストックを行ったり、防災ボランティアリーダー（高校生対象）の研修会を開き、保存食を実際に食べてもらい、賞味期限があることや保存食の調理方法等を体験してもらったりしている。このような活動で今後も普及啓発したいと考えている。</p>
健康推進課	<p>次期計画で、災害時に備えた食育の推進として項目を入れており、コラムでローリングストック法の説明をしている。</p> <p>災害時にはそれぞれの専門分野で活用できる知識を普及していただければと思う。</p>
委員	<p>災害時には要支援者への栄養サポートが必要とされている。栄養士会では災害現場の状況に応じた対応を行っているので、災害現場の声をぜひ共有していただきたい。</p>
委員	<p>市の給食会と生産者の協力で、岡山市で、体験講座として学校にマスカットの生産者を招き、生産者の思いや生産過程などの話を子どもたちに説明し、給食で実際に生産者の作ったマスカットを提供していただくという取り組みを来年度、行う予定である。</p> <p>子どもたちがこの経験を通して農業に興味を持つことや農業を理解することが職業選択の基礎になると感じている。</p> <p>また、こういった取り組みが生産者の増加に助けになるのではと思う。</p>